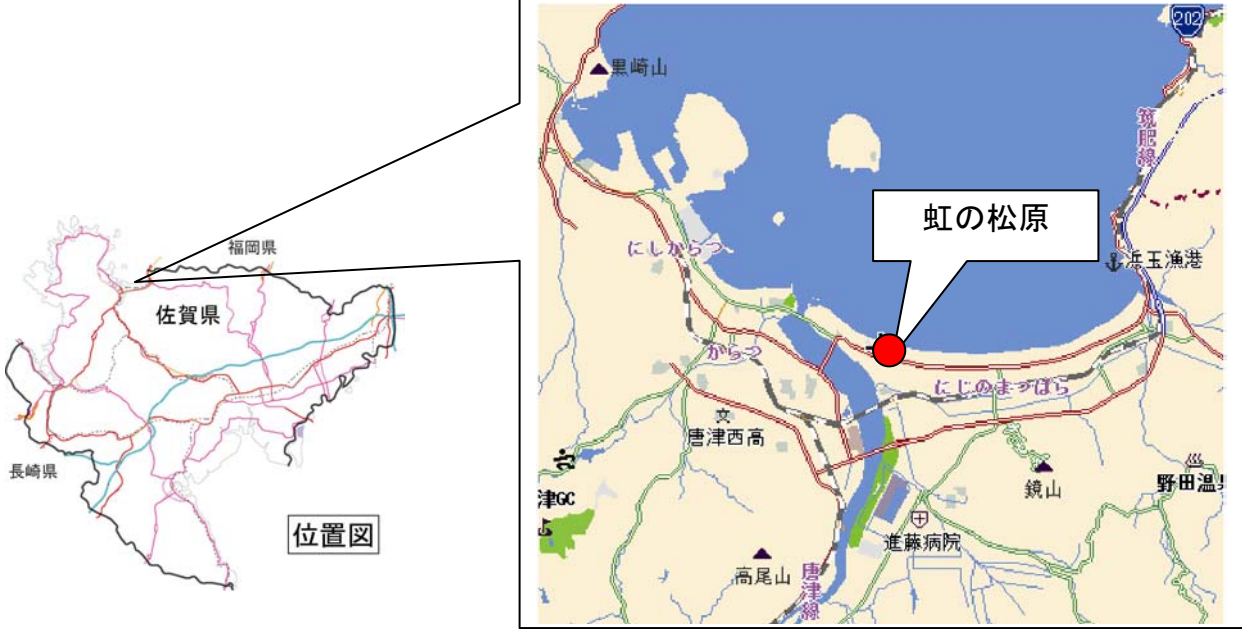


## 観光社会資本の事例

テーマ	国の特別名勝で日本三大松原のひとつに数えられる「虹の松原」
【施設の状況写真】	
	
<p>「虹の松原」の全景の写真です。長さ4kmにわたりの松林が生い茂り、唐津市の代表的な観光資源として、県内外から多くの観光客が訪れます。</p>	
【施設の利用写真】	
	<p>両側から張り出した松の枝によって造られた自然のトンネルをドライブするのは格別です。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>県道虹の松原線は、虹の松原を通過し浜玉町と唐津市を結ぶ道路であり、生活道路として、また物流、人の交流の上で重要な役割を果たしているのはもちろん、特に観光道路として地域に親しまれている道路です。</p>	
<p>虹の松原は、浜玉町から唐津市にかけて、幅 400～700m、長さ約 4km、総面積約 240ha にわたる、100 万本のクロマツを中心とした松林です。</p>	
<p>その歴史は今からおよそ 360 年前江戸時代初期に、時の唐津藩初代藩主寺沢志摩守廣高が後背地の新田開発などのための防風、防砂、防潮林として植林をしたのが始まりといわれています。</p>	
<p>幕藩時代には、「二里の松原」「御松原」と呼ばれていましたが明治 30 年代頃から「虹の松原」と呼ばれるようになりました。</p>	
<p>現在では松原の中央を県道虹の松原線が東西に通っており、観光名所として年間を通じて全国から多くの観光客が訪れ、両側から張り出した松の枝によって造られた自然のトンネルが、多くの人に感動を与え、また絶賛を受けています。</p>	

テーマ	日本三大松原のひとつに数えられる「虹の松原」
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称 県道虹の松原線</p> <p>○所在地 佐賀県唐津市浜玉町</p> <p>○事業名</p> <p>○事業主体</p> <p>○事業期間</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>県道虹の松原線は、浜玉町と唐津市を結ぶ道路であり、生活道路として、また物流、人の交流の上で重要な役割を果たしているのはもちろん、特に道路自体が観光資源として地域に親しまれている道路です。</p> <p>周辺には、唐津城、海水浴場などがあり、観光名所として年間を通じて全国から多くの観光客が訪れ、両側から張り出した松の枝によって造られた自然のトンネルが、多くの人に感動を与え、地域の活性化と発展に寄与しています。</p> <p>また、昭和 30 年に国の「特別名勝の指定」(文化庁)、昭和 58 年「日本の自然百選」「日本の名勝百選」となり、昭和 62 年には「日本の道路百選」、平成 16 年「美しい日本の歩きたくなる道 500 選」にも選ばれています。</p>	
<p>【位置図】</p>  <p>The figure consists of two maps. On the left is a map of the prefecture of Saga, showing its boundaries and major roads. A red box highlights the location of Nishikura. On the right is a detailed map of the Nishikura area. It shows the coastline, the Nishikura River, and the Nishimatsubara River. A red dot marks the location of '虹の松原' (Nishikura). Other landmarks include Mt. Kishikura, Mt. Takao, Mt. Nishikura, and Mt. Nishimatsubara. The map also shows the Nishikura Line, Nishikura Station, and Nishikura Hospital.</p>	
<p>【関連ホームページ】</p>	